

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	臨床研修関係システム運用経費			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課臨床研修推進室	室長：田村 卓也	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」 「歯科医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臨床研修施設が法令に基づく年次報告等を提出する際に、インターネットを通じての提出を可能とし、臨床研修施設の事務担当者の事務の簡素化を図る。また、当該情報を一般に公開することにより、医学生及び歯科医学生の臨床研修施設の選択に資するとともに、臨床研修施設の間の競争を促し、臨床研修の質の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	「臨床研修病院募集情報システム」の保守・運用を行う。						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位：百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	44	40	45	152	31
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	44	40	45	152	31	
	執行額	39	26	33	-	-	
執行率 (%)	89%	65%	73%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	89%	65%	73%	-	-		
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務 庁費	152	31	平成29年度においては、歯科医師臨床研修募集情報システムとの統合費用が計上されていたが、平成30年度では従来の保守・運用経費のみを計上することとなったため。			
計	152	31					

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度	
	マッチング者数について前年度以上とする。	医師及び歯科医師臨床研修マッチングシステムによるマッチング者数	成果実績	人	11,500	11,780	11,886	-	-	
			目標値	人	11,076	11,500	11,780	-	11,886	
			達成度	%	103.8	102.4	100.1	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	歯科医師臨床研修マッチング協議会及び医師臨床研修マッチング協議会公表資料より抜粋									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	医師及び歯科医師臨床研修医数	活動実績	人	17,738	18,052	18,821	-	-		
		当初見込み	人	17,915	17,738	18,052	18,821	18,821		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位あたりのコスト=X/Y X:執行額 Y:マッチング者数 ※平成29年度は運用・保守経費のみ		単位当たり コスト	千円	3.4	2.2	2.7	2		
			計算式	X/Y	39百万円/11,500人	26百万円/11,780人	32.6百万円/11,886人	24百万円/11,886人		
政策評価、 経済・財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること								
	施策	医療従事者の資質の向上を図ること								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29 年度	目標年度 30 年度
		研修医の満足度調査(満足度5段階評価のうち4段階以上の回答者の割合)	実績値	%	78	72.8	-	-	-	-
			目標値	%	70	78	72.8	72.8	72.8	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
	-	-	-	施策の進捗状況(実績)						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	医師及び歯科医師臨床研修マッチングシステムによるマッチング者数が増加するほど、測定指標である臨床研修医が満足している割合が高まると考えられ、結果として、政策目標である医療従事者を確保や資質の向上を図ることに繋がっていくと考えられる。									
	改革項目	分野:	-							
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	臨床研修施設の年次報告書等の事務簡素化を図るためのものであり、医師法・歯科医師法の改正により必須化された臨床研修の円滑な実施を図るため国費を投入すべき。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	医師・歯科医師臨床研修は医師法・歯科医師法の改正における付帯決議において、国が実施すべき事業とされており、医師・歯科医師臨床研修の円滑な実施を図るため、引き続き国で実施すべきである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	臨床研修施設の年次報告書等の事務簡素化を図るためのものであり、医師法・歯科医師法の改正により必須化された臨床研修の円滑な実施を図るため、引き続き必要な事業であり、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	事業者の選定は、最低落札方式による一般競争により競争性を確保している。平成28年度においては、結果的に一者応札となったことから、次期調達に当たっては、十分な公示期間を確保するとともに、入札説明会に参加したものの入札を辞退された者からヒアリングを行う等、より競争性が確保できるよう検討する。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	臨床研修の円滑な実施を図るため必要な事業であるため、受益者の負担は求めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	最低落札方式による一般競争により受託事業者を選定している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	システムの保守・運用管理及び改修等真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	システム改修は、緊急度の高いもののみを一般競争入札により実施したため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	最低落札方式による一般競争により受託事業者を選定して、システムの保守・運用及び改修等真に必要なものに限定している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	達成率について、高い水準で推移しており、見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	当システムを医学生等が活用することにより、研修希望者に対するマッチ率は、95%以上となっている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	当初見込みと同程度であり見合ったものになっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	医師・歯科医師免許取得者に対し、臨床研修が円滑に実施されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	予算の執行に当たっては、最低落札方式による一般競争により受託事業者を選定して、システムの保守・運用経費の最小化に努めている。医師及び歯科医師臨床研修マッチングシステムによるマッチング数は年間1万人を超えており、医学生及び歯科医学生の臨床研修施設の選択に寄与している。			
	改善の方向性	不用額の削減にあたっては、平成29年度中に、医師及び歯科医師の臨床研修病院募集情報システムを統合し、平成30年度以降の運用・保守経費の予算削減に努めている。臨床研修の質の向上を図るためには、臨床研修病院等の情報を提供することにより臨床研修病院等間の競争を促す必要があり、また、臨床研修終了後の専門分野の研修を実施している病院の募集状況を臨床研修を修了した医師が効率的に把握できるシステムは今後も必要である。			

**外部有識者の所見**

医師の臨床研修病院のプログラムをWEB上で情報提供する事業であり、28年度までの予算額40～45百万円に比べ、29年度が152百万円となっている。これは、平成29年度において歯科医師臨床研修募集情報システムとの統合が行われるためであり、従来の事業内容とは異なることから、より適正に執行されることを望む。(増田 正志)

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現  
状  
通  
り

外部有識者の所見を踏まえ、平成29年度予算においては、より適正な執行に努めること。

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現  
状  
通  
り

予算のより適正な執行に努めて参りたい。

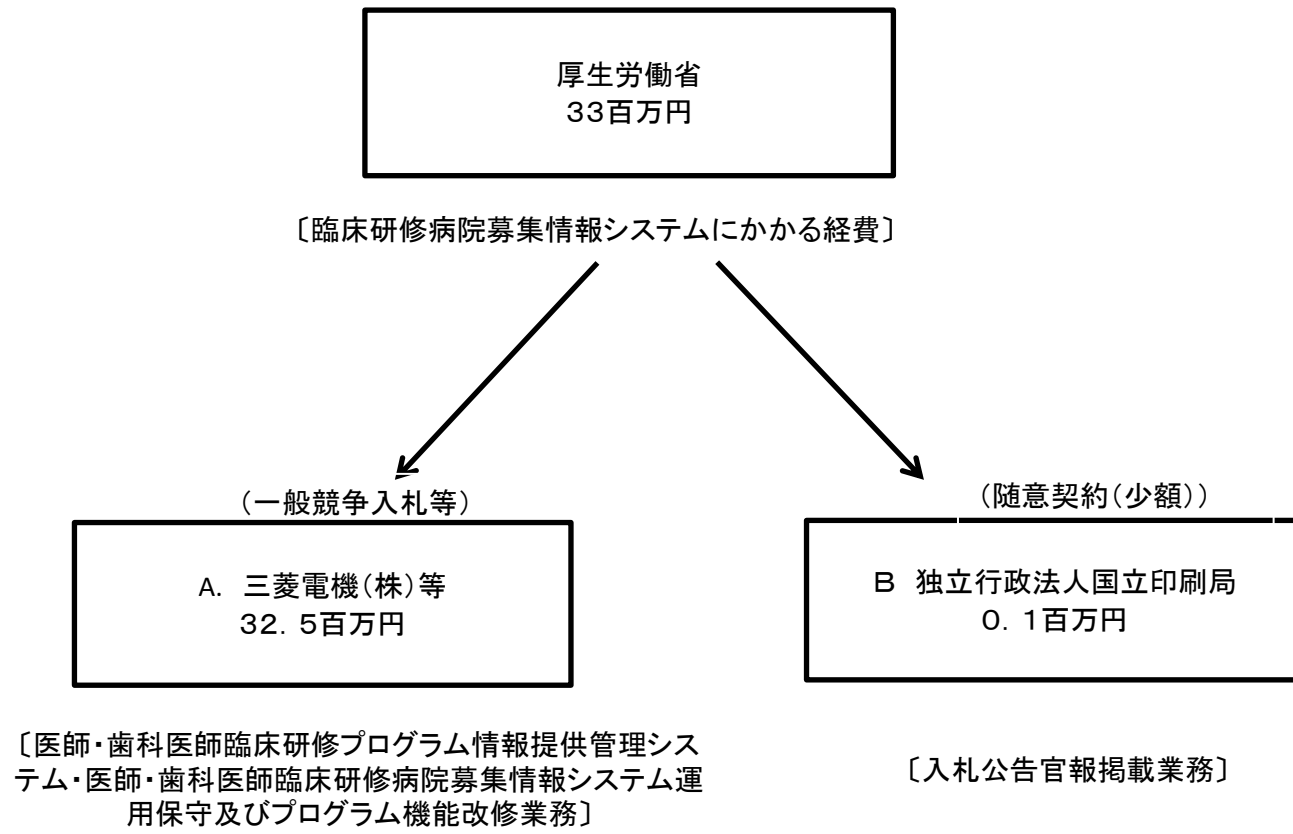
**備考**

—

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	89、92	平成23年度	74	平成24年度	53		
平成25年度	42	平成26年度	47	平成27年度	51		
平成28年度	52						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

